

色々な植物を見に行こう！

日本海側でしか
見られない植物
もあるよ！



妙高戸隠連山国立公園

日本海側の特徴 + 標高差

- ① 雪が多く湿っている
② 変化に富んだ環境
- 植物の種類が多いんだよ！！

日本海側の雪が多い気候の影響を受ける国立公園では、標高の低い場所でも高山植物がみられる場所があるよ！

2500 m ~ 高山帯



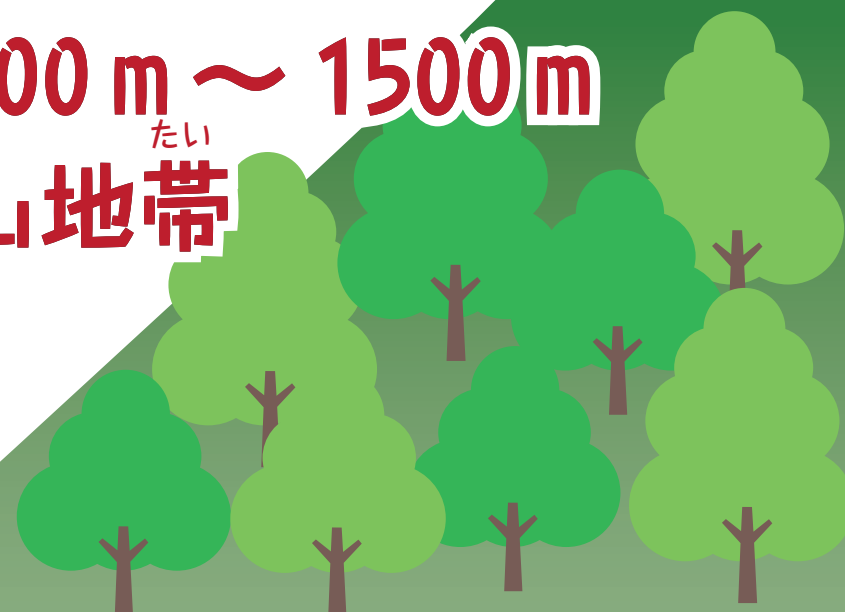
ハイマツ群落

1500 m ~ 2500 m
亜高山帯

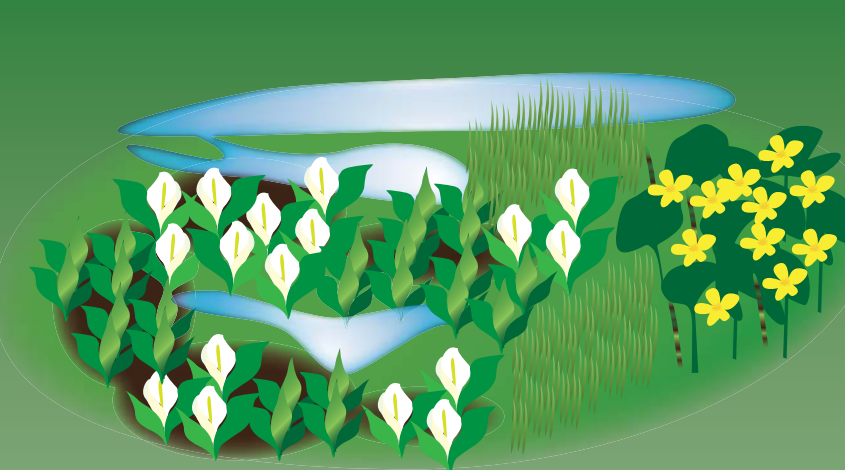


オオシラビソ林

500 m ~ 1500 m
山地帯



ブナ林



山の高いところで見られる



ミヤママンネングサ



ニッコウキスゲ



ハクサンチドリ



シラネアオイ



ハクサンフクロ



ウスユキソウ



ミツバオウレン



オサバクサ



ミツガシラ



オオシラビゲソウ



ツバメオモト



イワカガミ



ショウジョウバカマ

湿ったところで見られる

水分が多くて湿った環境を好む植物たち



ミズバショウ

湿原や小川の水辺にはえているよ。雪解けすぐの湿原に一面に咲く白い花はとてもきれいだよ。



リュウキンカ

湿原や沼地の水辺にはえているよ。5月の雪解けのころ、とても鮮やかな黄色が目を引くんだ。



ハクサンコザクラ

夏でも雪が残っているようなところの雪の周りにはえているよ。ピンク色の小さな花を探しに行こう！



イワシヨウブ

標高の高いところの湿原や湿った場所にまとまってはえるよ。小さな白い花がブラシのように咲くよ。

地名がついている植物たち



ミョウウトリカブト

火打山と妙高山でよく見かける花だよ。青くてきれいな花だけど、毒があるんだ。



トガクシソウ

淡い紫のきれいな花をつけるよ。コナラやブナの下にはえるけど、数はとても少ないんだ。

水分や日当たりがちがう場所の中で、その条件に合った植物が生育しているんだ。

